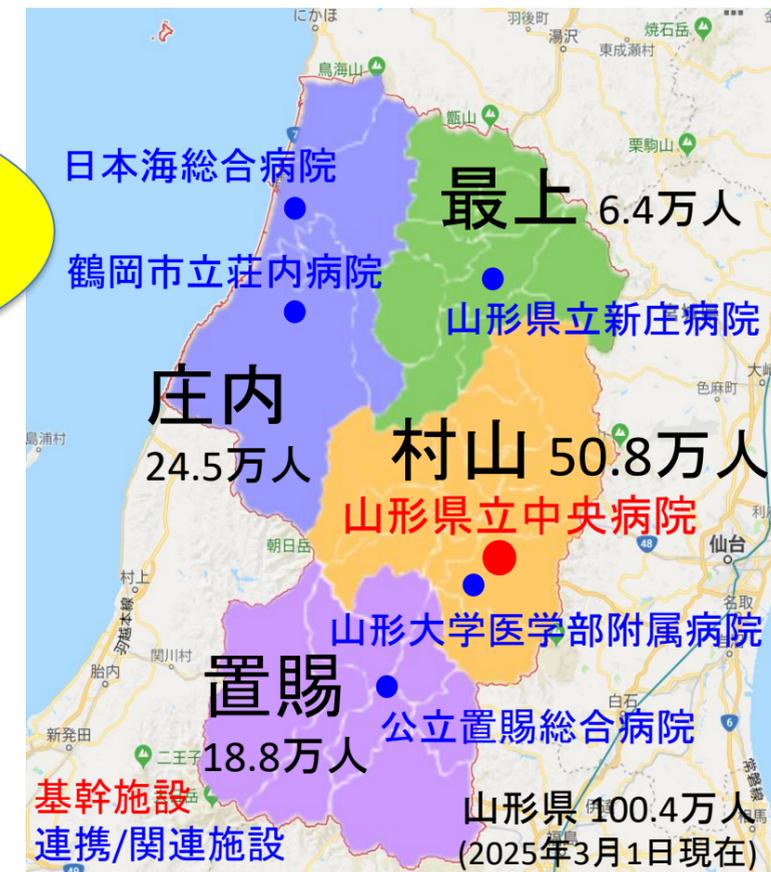


山形県立中央病院 救急科領域専門研修プログラム

【病院前救急診療～初期診療～集中治療～一般病棟診療】

一連の流れを主治医として責任をもって学ぶことができます！

研修計画は
専攻医ごとに
オーダーメイド！



救急科

ER 武田(副院長) 集中治療部

佐藤 中塚
根本 木曾
蔵増

山田 齊藤志 小林 柴田
辻本(非常勤) 門馬(時短)
渡邊翠(時短) 齋藤聡(時短)

専攻医 山内 村田 五十嵐

救急診療・集中治療 (6カ月)
<基幹施設 or 連携施設>

救急診療 or 他科研修 (6カ月)
<連携施設 or 基幹施設>

救急診療・集中治療・ドクターヘリ (12カ月)
<基幹施設>

集中治療室専従 (6カ月)
<基幹施設>

地域研修 (3カ月)
<連携施設>

地域研修 (3カ月)
<連携施設>

初期診療

救急患者数(2024年度)

3次(集中治療室に入院) 1287人
2次(一般病棟に入院) 3354人
1次(帰宅) 8874人
計 13515人

救急車 3960 台

緊急度、重症度の高い患者の
診療を通して様々な能力を養います！

救急科(集中治療部を含む)入院患者

300人

救急科(集中治療部含む)で
全身管理した他科入院患者

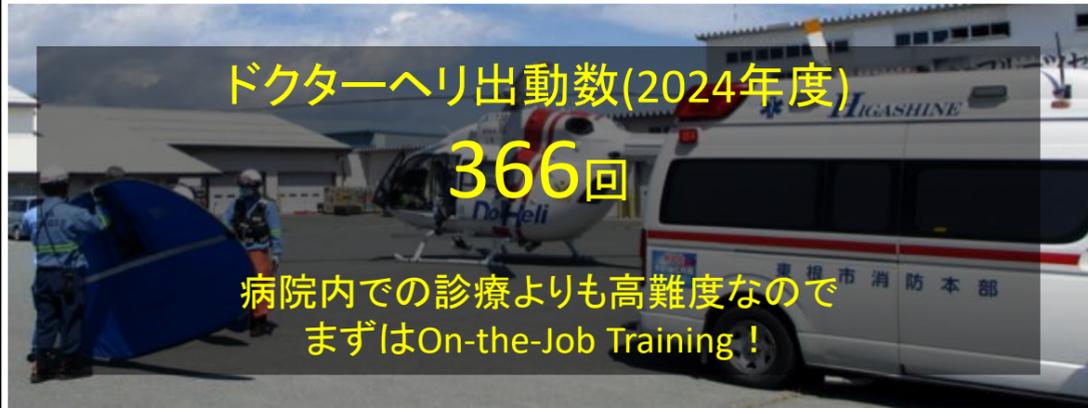
239人

当直(救急車担当) 約4回/月
(※当直翌日 休み)

【救急科のアピールポイント！】

- ・やりがい: 医の原点に立つ
- ・救急診療と集中治療の2本柱
- ・チーム医療
- ・診療能力向上:
主治医として責任をもって患者, 家族, スタッフ等と対話しながら治療を進めることにより、医師として必要な能力が必ず養われます！
主要な傷病に対して適切な初期診療ができるようになります！
病院前, 救急室, 集中治療室のどこでも気道, 呼吸, 循環を管理する力が身につきます！
- ・Subspecialty:
救急科専門医に引き続き、Subspecialty領域である集中治療専門医も基幹施設で取得可能です！
- ・十分な給与: 専門研修に専念できる
- ・懐の深さ: Medical Control, 学会活動, 災害医療(基幹施設に日本DMAT隊員30人!), JATEC, JPTEC, ICLS, etc...なんでもできます！

病院前救急診療



ドクターヘリ出動数(2024年度)

366回

病院内での診療よりも高難度なので
まずはOn-the-Job Training!

集中治療

集中治療部担当患者数(2024年度)

306人

スタッフや各科医師と連携して
集中治療を学びましょう！

救急科で主治医として集中治療することもありますし、
集中治療部研修中に集中治療を担当することもあります